

首都直下地震等による本市の被害想定の見直しについて

1 報告趣旨

東京都は、平成24年（2012年）に「首都直下地震等による東京の被害想定」を策定した後、これまでの10年間の様々な防災の取組や最新の科学的知見を踏まえ、首都直下地震等発生時の被害の全体像を明確化するとともに、今後の東京都の防災対策の立案の基礎とするため、新たな被害想定を令和4年（2022年）5月25日に公表した。これを受け、本市の被害想定について取りまとめたことから、その内容について報告する。

2 報告内容

(1) 本市の被害が最大となる想定地震

東京都が公表した新たな被害想定では、多摩地域に大きな影響を及ぼすおそれのある地震として、「多摩東部直下地震」が想定されている。都内で震度6強以上となる地域は、多摩地域に加えて、区部東部を含めて広く分布しており、本市においては、震度6強の範囲が市域の24.1%に広がる。

(2) 多摩東部直下地震における八王子市の被害想定

別紙「多摩東部直下地震による本市の被害想定（R4年（2022年）5月公表）」のとおり。

3 その他

被害想定の見直しを踏まえ、今後、東京都が「東京都地域防災計画」の修正を行うことから、本市の地域防災計画についても以下のスケジュールで修正を行う予定である。

計画等の名称	改定スケジュール		
	R 4	R 5	R 6
東京の被害想定	●（公表）		
東京都地域防災計画	修正 		
八王子市地域防災計画	修正（東京都地域防災計画の修正を反映） 		